

# 推せ！推せ！スポ推★

(スポーツ推進委員協議会)

地域振興部生涯学習スポーツ課

スポーツ推進委員協議会

## 高橋課長 × 多部田会長

### スポ推対談



【高橋美由紀】  
地域振興部生涯学習スポーツ課長  
登山が趣味。職域の山岳部代表。  
最近の推しは「激辛食べ物」。激辛のインスタをしている。



【多部田里志】  
新宿区スポーツ推進委員協議会会長  
スポーツ推進委員歴は20年以上。  
スポーツ大好き。

※課長：高橋課長 会長：多部田会長 司会：加地

体育指導委員としてスタートしました。スポーツは昔から好きで、野球、バスケットボール、バレーボールと色々心変わりしながら続けていました。中でも高校から始めたバレーボールは、卒業後に高校のコーチや、ママさんバレーの指導をしたり、PTAのパパたちとビーチボールバレーもはじめました。コミュニティスポーツ大会で優勝も経験しました。スポーツ推進委員になり、ビーチボールバレーは裏方に回りました。

司会：スポーツ推進委員になると、競技に参加は出来ないんですか？

会長：スポーツ推進委員は出られないという決まりはないですが、審判をすることもあるので、選手は自粛しました。

司会：僕もスポーツ推進委員になり、審判を経験しましたが、審判をすると競技に参加したくなります。

会長：スポーツ推進委員は、競技者を作るのではなく、スポーツに関わるきっかけを作る仕事だと思っています。イメージとしては、土を耕して、種をまいている役割りだと思います。

#### それぞれの目的で楽しめる スポーツでの関わりの良いところ なぜスポーツなのか

会長：何かの目的に向かうところが良い。勝負、仲間作り、健康づくりなど、それぞれ目的が見つかれば良い。仲間づくりというところでは、共通の話題になります。

司会：世界共通のルールで行うので、言葉や国の壁を超えるものがありますね。

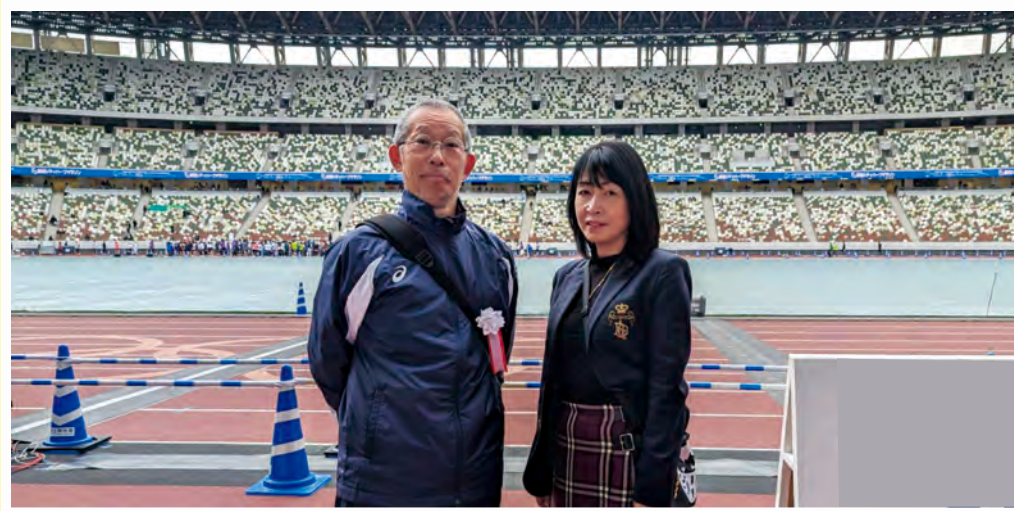
課長：コミュニティスポーツ大会の地区大会だと、初対面のメンバーで即席チームを作ることありますが、良いプレーがあると自然に盛り上がります。そんな一体感が生まれるのがスポーツの良いところ。応援している人たちも一つに

なる瞬間があります。山岳部の代表をしていると判断を求められたり、意見をまとめる場面など、難しさを感じることがありますが、それも含めて、スポーツを通して学ぶことが多く自分自身の成長につながっています。

会長：山ですれ違ふと自然と挨拶する場面を良く見かけます。これもスポーツの良いところだと思います。

#### モチベーションを上げるには スポ推今年度の振り返り

課長：令和5年度になり、コロナが5類に移行してやっと思う存分イベントが自由に出来るようになりました。令和3年度の着任当初は、イベントも中止になりスポーツ推進委員の方々をパンフレットで見るといいでした(笑)。本年度のスポーツ推進委員協議会が主催したポッチャ新宿小学生カップ第一回大会はとても印象に残っています。



会長：オリパラが終わり、全体的にモチベーションが下がっているのを感じていました。スポーツ推進委員として何を目的にやっていけば良いのかと考えて、自主企画のポッチャ小学生カップを提案しました。自分たちの意識の底上げになった一年でした。来年、再来年と協議会全体としてモチベーションを上げるにはどうするか話し合えると良いです。

課長：初めての自主企画には、生みの苦しみもあったと思います。

会長：ポッチャについては、幼稚園などで子どもたちに教える機会もあり、子どもを中心としたイベントが出来ないかと考えました。

課長：準備の段階から第一回に向けて同じ方向を向いて進められたことは、本当に良かったです。



#### スポーツ推進委員協議会が 関わる推しのイベントは？

会長：コミュニティスポーツ大会が基本的な活動の一つだと思います。地域の人たちがスポーツする機会を作り、地区大会で地域の代表者を出します。10地区合わせると参加者は1,800人を超える大きなイベントです。

課長：地区大会で勝ち進んだ方が参加する中央大会も参加者は360人でした。本当に多くの地域の方々が関わっています。

イベントではないですが、推したいのは研修です。都、区の開催だけでなく、協議会の研修部の皆さんのアイデアでとても内容が充実していると感じています。

#### 良い人が多いんです～

#### スポーツ推進委員の メリットデメリットは？

課長：メリットとしては、非常勤公務員になるので立場が明確です。あとは、人と人とのつながりが出来ます。そして、何より地域に求められています。デメリットとしては、地域活動のために自分の時間を費やさなければならないことです。

司会：メンバーはボランティア精神が染みついている方が集まっているイメージです(笑)。そこに負担を感じていないのかもしれないですね。つまり、良い人が集まっているんですね。

課長：良い人と出会える場ですね。

会長：これまでの経験からしても、やっぱり色々な人と知り合いになれるというのが一番だと思います。参加者から声をかけられることもあるし、そこから広がる輪もあります。その積み重ねで今があるのかなとも思う。

司会：新人の僕としては、知識が増えました。スポーツのルールを知れたのもメリットです。人との広がりと言うと、他の地域のスポーツイベントに呼ばれたこともあります。これはメリットかどうか分かりませんが。

会長：あとは、様々な場所で取り纏めをすることで、本当に学びが多いです。

#### 若い担い手が重要

#### スポーツ推進委員のこれからは？

課長：スポーツ振興は、地域が主体となって発展していくのが理想です。それを支えるスポーツ推進委員の役割りは重要です。若い担い手の力も期待しています。柔軟な発想で新しいアイデアをたくさん出してもらい、刺激し合えるといいですね。

会長：個性的な力をどんどん発揮して欲しい。メンバーは自分のやりたいことを進めるうえで、もう一人の自分が全体を見るような、そんな視点も持って取り組んでいきたいです。

司会：スポーツ推進委員を通して様々な学びがあるとわかりました。たくさんの人に経験してもらいたいです。本日は貴重なお話をありがとうございました。

#### 興味を持って 楽しめるかどうか

#### スポ推のポテンシャルとは？★

司会：スポーツ推進委員になるための適性はありますか？

課長：区では体操やウォーキング、レクリエーションも含めて広くスポーツと捉えています。スポーツが上手い人というだけではなく、年齢や障害も関係なく、体を動かしたり交流の場を提供してくれるような方になっていただきたいです。

司会：これまでにスポーツ経験がなくても、スポーツを広められる方が求められているんですね。

課長：そして、幅広い地域で色々な方の個性を発揮し、その力を結集していただくことが大事です。

会長：スポーツに参加するというのは、スポーツする人、見る人、支える人がいて、スポーツ推進委員は「支える人」にあたると思っています。スポーツに楽しめる環境を作るというのが必要です。スポーツが得意ではない方も、参加者と同じ立場と一緒に学ぶことが、きっかけの場となることもあります。色々な役割があるので、誰でもやる気があればできると思います。

司会：未経験の方が入っても大丈夫ですか？

課長：充実した研修制度があります(笑)。

会長：そんなに難しいルールのスポーツをやっているわけではないです。知らない競技に興味を持って楽しめるかどうかだと思います。興味を持てる人は、他の人にも競技をオススメ出来る人だと思う。

#### 土が靴につくだけでも 泣いていました

#### 自己紹介とスポーツとの関わり

課長：スポーツ推進委員の担当になって3年目になります。自身のスポーツとの関わりとしては、山に登ります。子どもの頃に山好きの父に連れられて高尾山などに行きましたが、当時は土が靴につくだけで泣くような子どもだったので、山には向いていませんでした。そこから転機が訪れたのは、高校生の頃に、友人の誘いで夏の沢登りを体験したことです。そこからドハマリして、海外の山まで登るようになりました。現在も新宿区と特別区の山岳部の代表をしています。

司会：本格的ですね。富士山にも登りますか？

課長：高所訓練で登りました。ウォーキングアップですね(笑)。

司会：恐れ入りました。他に推しはありますか？

課長：推し。。。というか、タイ料理をきっかけに好きになった、激辛料理をインスタにあげています。スポーツとは関係無いのですが。

会長：いや、汗もかくし、激辛を食べることはスポーツかもしれませんね(笑)

司会：ありがとうございます。多部田会長、自己紹介をお願いします。

会長：スポーツ推進委員は2000年から